

航空部門のネットゼロエミッション目標に関する達成経路分析

■ 社会環境学部 社会環境学科 助教 鬼頭 みなみ

- 研究分野：ライフサイクルアセスメント、運輸部門、環境と経済
- キーワード：ゼロエミッション、航空輸送、二酸化炭素

I 研究概要

1. 航空部門の排出量

気候変動緩和のためには、二酸化炭素(CO₂)の削減が必要であるが、大幅な排出削減が可能な技術が未成熟な航空部門は、CO₂排出量の削減が難しい部門のひとつであると言われている。将来技術を導入することができなかった場合の排出削減方法を検討し、技術に依存しない、より実現可能性の高い目標達成経路を明らかにする。また、今後ネットゼロエミッションを目指す社会において、航空輸送以外の部門においても必要となる社会の変化についても検討する。

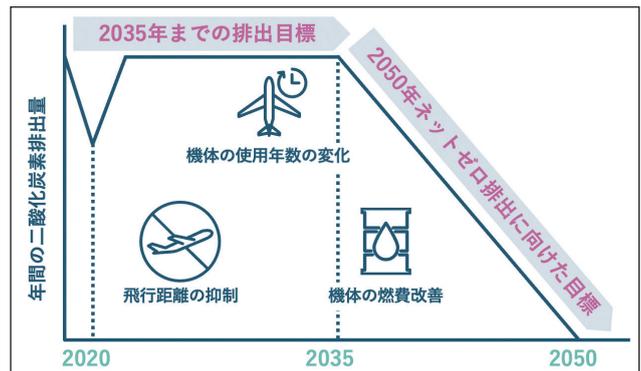


図1. 排出削減策と航空部門のCO₂排出目標

2. 2050年排出目標達成の実現に向けて

大幅な排出削減が可能な将来技術を用いなかった場合、2050年ネットゼロエミッション目標の達成のためには、**大幅な飛行距離の抑制**が必要である。2050年ネットゼロエミッション目標を達成するためには、新型コロナウイルス拡大期(2020年)に経験した変化に加えてさらに大きな社会や生活の変化が求められると考えられる。



図2. ネットゼロエミッション目標達成のために必要となる変化

I 利点特徴

将来の技術に依存しない実現可能性の高い目標達成経路を明らかにすることができる

I 応用分野

- ・運輸部門全体の排出目標達成に向けた議論
- ・ネットゼロエミッションを目指す社会に求められる変化

